

# 2016年度 大阪大学 前期 英語

## I

出題範囲	英文和訳
難易度	★★★☆☆
所要時間	25分
傾向と対策	文法上複雑な文でもなく、単語も基本的なものばかりであったため確実に得点したい。ただし、問題の指示がただ「訳せ」ではなく「日本語で表せ」となっているので、できるだけ指示内容を補って日本語として読みやすくするなど、伝わる日本語を書くことが求められていることに気をつけなければならない。

### 本文訳

(A)

人間は既定の制限の中で創造性を発揮するあらゆる方法を見つけるのが得意である。長方形の額縁の中に絵を描いたり、弱強五歩格で詩を書いたり、十四行詩を作ったりするのがその例である。科学者は時としてどのようにその創造性が生まれるのか、それによって何が達成されるのか、そしてほかのどこでひらめきを探せばいいかを研究したがる。多くの芸術家は科学的分析に気をもんでいる。彼らはその分析が成功することをおそれている。もし彼らの創作活動及びそれが我々に与える影響の心理学的起源が明らかにされてしまうと、芸術が力を失うかもしれない、すなわち彼らの権威が失墜してしまうかもしれないと心配なのだ。

(B)

およそ百万年前に遡る広範囲にわたる原始文化の頃から、自然物が手の能力を補ったり高めたりするための道具、器具として使われ始めた。例えば、手を使えば土を掻いて食用の根を掘り出すことができるが、土を掘るための棒や貝殻を握ることによっても、指や爪への損傷を軽減しつつ、より簡単に、持続的な方法でその作業をすることができる。

### 解答例

本文訳参照

### 解説

(A)

傍線部以前に見慣れない単語が並んでいるが、例示に過ぎないため気にせずに読み飛ばせばよい。

・ Scientists sometimes like to study how that creativity occurs, what it achieves , and where else to look for inspiration.

シンプルな構文なので細かい解説は必要あるまい。like to は「～するのが好きだ」とするのは日本語としてやや不自然である。sometimes という頻度の副詞がある以上「好き」という状態ではなく「～したがる」という行為として訳するのが適当だろう。that creativity は前文の creativity を指している。it は that creativity のことで、where else とは「絵や詩に代表される art 以外に」という意味だろう。

・ Many artists are nervous about scientific analysis. They fear its success, worried that art might lose its power, or they might be diminished, if the psychological roots of their work and its impact on us were exposed.

1 つ目の文は解説が不要だろう。2 つ目の文は They fear its success に分詞修飾がされており、that 節は文の最後まで含まれる。its success は「科学的分析の成功」であるが、少々堅い日本語になってしまうため、「科学的分析が成功すること(うまくいくこと)」と訳すとよい。its power は art's power のことである。they は many artists を指示しているので「彼ら」と訳せばよい。“, or” は、「あるいは」と訳してしまいそうになるが、前後が内容的に一致しており、「すなわち」と訳すべきであるため注意したい。

ただし、前後で主語が変化していることには気をつけよう。their work は「彼らの創作活動」といった意味だろう。its impact は「芸術家の創作活動の影響」ということだ。最後の were exposed は直訳すれば「さらされる」だが、科学者によってさらされるということはそれが科学的に解明されることだと考えて「明らかにされる」と訳せる。

(B)

傍線部の前には自然物を道具として使う習慣がかなり昔の文化にも存在したことが書かれている。

・ For example, the hand is capable of clawing soil to dig out an edible root,

is capable of 「～する能力がある」は覚えておかなければならない。claw soil は「土を掻く」、dig out は「掘り出す」という意味である。edible 「食用の」は知らなかった受験生もいるかもしれないがこの機会に覚えておこう。直訳すれば「手は食用の根を掘り出すために土を掻くことができる」となり、これでも十分満点がもらえるだろう。ただし日本語として読みづらいと思い、解答例では手の使用者としての人間を意識した書き方をした。

・ but a digging stick or clam shell is also capable of being grasped to do the job more easily, in a sustainable manner, reducing damage to fingers and nails.

a digging stick は「土を掘るための棒」、clam shell は「貝の殻」である。more easily と in a sustainable way は並列の関係にある。最後の reducing damage to fingers and nails は a sustainable manner にかかる分詞で、

「持続可能な方法」というのをより詳しく説明していると考えられることもできる。直訳してみると「しかし土を掘るための棒や貝の殻はより簡単に、指や爪の損傷を軽減し、持続可能な方法で作業をするために持たれることができる」と意味がわかりづらくなる。そこで道具を主体とせずに「道具を持つことで～できる」と訳すと、意味を保ったまま自然な日本語にすることが可能である。

### 表現

**prescribe A** 「A を規定する, A を指示する」

**rectangular** 「長方形の」

**iambic pentameter** 「弱強五歩格」: 弱い音と強い音を交互に 5 回ずつ繰り返して 1 行を作る韻律のこと。英語詩で最も一般的に使われる。

**sonnet** 「十四行詩」: イタリア起源の詩形で英語詩にも取り入れられた。

**implement** 「道具, 器具」

**edible** 「食用の」: 有毒でないから食べられるというニュアンスに過ぎず, おいしいことを意味するわけではない。

(佐藤寛司, 吉田涼佑)

## 2016 年度 大阪大学 前期 英語

### II

出題範囲	長文読解
難易度	★★★☆☆
所要時間	35分
傾向と対策	問題の指示がただ「訳せ」ではなく「日本語で表せ」となっているので、できるだけ指示内容を補って日本語として読みやすくするなど、伝わる日本語を書くことが求められていることに気をつけなければならないものの、文法と単語ともに比較的平易な文章であったため、高得点が狙える問題だろう。著しくミスが多かった場合には、一度基礎に立ち返って失点の原因を分析してもらいたい。

#### 本文訳

すべての新しい考えの源は同じである。脳内にはニューロンのネットワークがあり、そしてそのネットワークが変化する。何の前触れもなく、電気が普段と違うパターンで流れ、電流のゆらぎが細胞の回路基板に広がる。しかし、たった1つのネットワークでは足りないことがある。ときには、創造的な問題は、人々が自分たちの想像力をつなぎ合わせなければならないほど難しい。我々が協力して初めて答えにたどり着けるのだ。①それは、集団とは単に個々の才能のある人々の寄せ集めではないからだ。それどころか、それらの才能のある人々が自らを超越し、誰も可能だとは考えていなかった素晴らしい何かを創り出す機会なのだ。適切な組み合わせの人々が集まり、適切なかたちで協力したとき、起きることは魔法のようにしばしば感じられる。しかしそれは魔法ではない。集団がその構成要素の合計以上であるということがあがる、それには理由がある。

さらには、集団の創造力がより必要になってきているという証拠がある。なぜならば、我々はとても難しい問題がたくさんある世界で生きていて、簡単に解決できる問題はもうどこにもない。最も重要な挑戦課題の多くは、個人の想像力を超えている。結果として、他人と協力しないと我々は解決策を見つけないことができる。

ケロッグビジネススクールの経営学の教授であるベン・ジョーンズは、「科学的な生産」における傾向を分析することでこれを示した。彼が発見した最も重要な傾向は、科学的なチームワークへの急激な移行だ。1,990万の審査された論文と、ここ50年間の210万の特許を分析することで、ジョーンズは、99%以上の科学の下位分野において、平均的なチームの大きさが10年ごとに20%程増えている中、チームワークのレベルが徐々に上昇していっていることを示すことができた。かつて、ある分野で最も引用されていた研究は、アインシュタインやダーウィンといった1人の天才によるものだったが、ジョーンズは今日出てくる最もよい研究はチームによるものであると示した。その研究者たちが素粒子物理学を研究しているのか、人類遺伝学を研究しているのかは問題ではない。複数の著者による科学論文は1人の著者によって書かれた論文の2倍以上も引用されている。②この傾向は、「ホームラン論文」、つまり、少なくとも1,000回引用されている公表論文においてはよりさらに顕

著であり、そのような論文が科学者のチームから生み出された可能性は6倍以上なのである。

理由は簡単だ。今日解決する必要のある最も大きい問題は、学問分野間の溝の懸け橋となる、異なる背景をもつ人々の専門知識を必要としているのだ。ほかの人と自分の考えを共有できるようにならない限り、我々は一見解決不可能な問題の世界にはまり込んでしまうだろう。我々にできることは、みんなで協力するか、1人で失敗するかしかないのだ。

しかし、どのように協力すればいいのだろうか。集団の創造力のための理想的な戦略は何なのか。ノースウェスタン大学の社会学者であるブライアン・ウッジはこれらの重要な質問に答えるために自分の生涯を費やし、<sup>③</sup> 彼はブロードウェイのミュージカルを研究することでそれを成し遂げた。ウッジはニューヨークで育ち、子どもの頃、多くの作品を見に行っていたが、空き時間に『コーラスライン』を必ずしも見るわけではない。「私はミュージカルがまあまあ好きだが、それが理由で研究しているわけではない。」と彼は言った。そうではなく、ウッジはその芸術の形態を集団の創造力の模範だと考えたため、彼は5年かけて数千の古いミュージカルを分析した。「ブロードウェイのミュージカルを1人で創る人は誰もいない。その作品にはあまりにも多くの異なる種類の才能が必要だ。」と彼は言った。そして協力しなければならない多様な芸術家のリストを彼は早口で言った。作曲家は作詞家と台本作者と一緒に曲歌を書かなくてはならず、振付師はディレクターと一緒に仕事をしなければならず、ディレクターはプロデューサーから指示をもらっているかもしれない。

ウッジはこれらのチームのメンバーの関係がどのように最後の結果に影響するか理解したかった。以前一緒に仕事したことがある親しい友だちで構成されたチームのほうがいいのだろうか、それともまったく知らない人どうしのほうがよりよい劇を創り上げるのだろうか。創造的な協力の理想的な形は何だろうか。これらの疑問に答えるために、ウッジは1877年から1990年までのブロードウェイで創られたほとんどすべてのミュージカルの大規模な研究に着手し、2,258個の異なる作品の裏にいるチームを分析した。(共同制作者の完全なリストを得るために、彼はしばしば劇場の地下のほこりが積もった古い芝居のビラを徹底的に調べる必要があった。)彼は、コール・ポーターからアンドリュー・ロイド・ウェバーまでの異なる数千もの芸術家の複雑な関係を図にまとめた。

ウッジが最初に発見したことは、ブロードウェイで仕事をする人は、相互関係が極めて強い社会ネットワークの一部であるということだ。『サイズ&ドールズ』の台本作者から、キャッツの振付師までたどるのに、多くの関係は経由しなかった。その後、ウッジはミュージカルごとのこれらの関連の濃密さを測る方法を思いつき、これを<sup>④</sup> 彼はQという名称でよんだ。本質的には、Qの量はその劇に取り組んでいる人々の「社会的親密度」を反映していて、Qが高いと親密度の程度が高いことを示している。例えば、もしあるミュージカルが、以前に何度か一緒に仕事をしたことがある芸術家のチームによって創られているなら、そのミュージカルはとても高いQをもつだろう。これはブロードウェイではよくみられる慣習である。なぜならプロデューサーは「現職のチーム」をより安心できると考えるからだ。これに対して、知らない人たちによるチームが創るミュージカルは低いQをもつ。

この測定基準により、ウッジはQの程度とミュージカルの成功の間の相関性関係を探求することが可能にな

った。「正直に言うと、影響の大きさに私は驚いた。私は Q が重要であるとは予想していたが、これほどまでに重要だとは考えもしなかった。」とウッジは言った。データによると、共同制作者の間の関係は、ブロードウェイにおける最も重要な変数の 1 つである。そのことは数字に表れている。Q が低いとき、つまり 1.7 未満のとき、ミュージカルはとても失敗しやすい。芸術家たちがお互いを知らないから、一緒に働き、意見交換をするのに苦労する。「これは驚くほどのことではない。結局、以前会ったこともない人の集団を部屋に入れて、彼らが何かすごいものを創るのを期待することはできない。うまくいく協力関係を発展させるには時間が必要だ。」とウッジは言った。<sup>⑤</sup>しかしながら、Q が高すぎるとき (3.2 より大きい) ときも仕事に苦戦する。芸術家たちは親密すぎて、似たような考え方をする。これが劇の創造性をつぶしてしまう。ウッジによると、これが 1920 年代にブロードウェイで起きたことだ。その 10 年は多くの才能がある芸術家 —— コール・ポーター、リチャード・ロジャー、ローレンツ・ハート、そしてオスカー・ハマースタイン二世 —— を輩出したが、劇が失敗したことも沢山あった。(ウッジのデータは、その 10 年で創られた 87% のミュージカルは完全な失敗作であることを明らかにした。これは、歴史的な平均をはるかに越えている。) 彼が言うには、問題は、これらの異彩を放つ芸術家が自分の友だちとしか協力しないという習慣癖に陥ったということだ。「(1920 年の) ブロードウェイには、いままで一番有名な人たちがいたが、劇が繰り返しの同じような人間関係であふれ過ぎていて、それが創造性を抑えた。高い才能をもつ人たちは全員、多くの二流のミュージカルを創ることになってしまった。」

<sup>⑥</sup>それなら、どのようなチームが最も成功するミュージカルにつながるのか。ウッジのデータははっきりと、最もよいブロードウェイのショーは社会的親密度が中間レベルのとき創られたと示している。Q の理想的な水準 (2.6) で創られたミュージカルは、Q が低いとき (1.4 より低い) や高い (3.2 より高い) ときに創られたミュージカルの 2.5 倍の商業的な成功を収めやすかった。また、それは評論家から高い評価を 3 倍つけられやすかった。このことがウッジを、創造的な協力には最も有効な組み合わせがあるという主張に導いた。「ブロードウェイで最もよいチームは、関係がとても混合しているチームだ。これらのチームには慣れ親しんだ友人がいるが、新参者もまたいる。この混合は、芸術家には依拠できるなじみのある構造があり、効率よく影響し合うことができるが、新しい考えを組み込む努力もすることを意味している。彼らは、お互いを居心地がいいと思うが、居心地が良過ぎはしない。」とウッジは言った。

ウッジのお気に入りの中間的な Q の例は、いままでのブロードウェイで最も成功したミュージカルの 1 つであるウエストサイド物語である。<sup>⑦</sup>1957 年、その劇は社会問題を題材にすることを厭わない点や、ダンスシーンが増えた点から、ブロードウェイのしきたりから大きくかけ離れているとみられていた。共同制作者の何人かはすでにブロードウェイの伝説的な人物であり、以前一緒に働いたことがあるため、初めは、ウエストサイド物語は高い Q をもった劇に見えるかもしれない。その劇の構想はジェローム・ロビンズ、レナード・バーンスタインそしてアーサー・ローレンツの会話の中から生まれた。しかし、その慣れ親しんだ友人の間の会話は始まりでしかなかった。ウッジが指摘するように、ウエストサイド物語は、まだ知られていない才能をもつ芸術家が投入されたことから重大な恩恵を受けている。(それまでブロードウェイで働いたことがなかったが、) スティーブン・ソンドハイムという名の 25 歳の作詞家が歌詞を書くように雇われた一方、ロビンズの助手のピーター・ジ

エンナーロが振付師に多くの重要なアイデアを提供した。「人々には自分の友だちとしか仕事をしたがらないという傾向がある。そうすることでとても心地よくなる。しかし、それこそが間違っただけの行為だ。本当に何かすごいものを創りたいのならば、誰か新しい人も見つけなければならなくなる。」とウッジは言った。

### 解説

(1)

#### 解答例

それは、集団とは単に個々の才能のある人々の寄せ集めではないからだ。それどころか、それらの才能のある人々が自らを超越し、誰も可能だとは考えていなかった素晴らしい何かを創り出す機会なのだ。人々が適切に組み合わさって集まり、適切な形で協力したとき、起きることはしばしば魔法のように感じられる。

・ That's because a group is not just a collection of individual talents.

That is because は「それは～からだ」という意味である。talent には「才能」という意味だけでなく、「才能がある人」という意味もある。not just は「～だけではない」という意味なので、集団は個々の talent の集まりという一面もあるということになるから、ここでの talent は後者の意味で使われている。

・ Instead, it is a chance for those talents to exceed themselves, to produce something greater than anyone thought possible.

instead は「その代わりに、それどころか」の意味があるが、ここでは反対の内容を比較しているため、「それどころか」と訳す。something greater than anyone thought possible は直訳すると、「誰であれ、(その人が)可能だと考えている(もの)よりも素晴らしい何か」となり、これを少し言い換えると、「誰も可能だとは考えていなかった素晴らしい何か」となる。than anyone thought possible は than (something that) anyone thought possible と補って考えればよい。

・ When the right mixture of people come together and when they collaborate in the right way, what happens can often feel like magic.

mixture は「混合、交差」の意味であり、right mixture of people の直訳は「人々の適切な混合」となるが、これをわかりやすく言い換えると、「人々の適切な組み合わせ」となる。come together は「集まる」という意味である。

(2)

#### 解答例

複数の著者による科学論文は 1 人の著者によって書かれた論文よりも引用回数が多いという傾向は、「ホームラン論文」、つまり、少なくとも 1,000 回引用されている公表論文においてはさらに顕著であり、そのような論文が科学者のチームから生まれる可能性確率は、個人から生まれる可能性確率の 6 倍以上なのである。

this trend とは前文の science papers produced by multiple authors are cited more than twice as often as those authored by individuals を指している。よって、その内容は、「複数の著者による科学論文は 1 人の著者によって書かれた論文よりも引用回数が多いという傾向」である。

・ this trend was even more apparent when it comes to “homerun papers”  
when it comes to は「～に関していえば、～の話になると」という意味である。

・ —those publications with at least a thousand citations—  
homerun paper の説明の部分である。at least は「少なくとも」という意味である。

・ which were more than six times as likely to come from a team of scientists.

先行詞は homerun papers である。倍数表現の部分を一旦取り除けば、homerun papers were likely to come from a team of scientists であり、「ホームラン論文は科学者のチームから生まれる可能性が高い」という意味になる。また、more than six times as likely のあとには、as from an individual author が省略されていると考えられ、ホームラン論文が科学者のチームから生まれる可能性確率と個人から生まれる可能性確率を比べている。直接この問題には関係しないが、倍数表現の置かれる位置も頻出のためチェックしておこう。

(3)

**解答例**

ブロードウェイのミュージカルには多くの異なる種類の才能が必要なため、集団の創造力の模範だと考えられたから。

第 5 段落後半に該当部分がある。Uzzi spent five years analyzing thousands of old musicals because he sees the art form as a model of group creativity とあり、「ウッジはその芸術の形態を集団の創造力の模範だと考えた」というのが理由である。また、なぜブロードウェイのミュージカルが集団の創造力の模範なのかというと、すぐうしろの発言にあるように、The production requires too many different types of talent つまり、「ブロードウェイのミュージカルには多くの異なる種類の才能が必要だ」からだ。

(4)

**解答例**

ミュージカルの制作に協力している人々の関係の親密度を反映する指標。(33 字)

下線部④を含む文とその次の文で Q について説明しているので、そこをまとめて解答しよう。social intimacy を直訳すると「社会的親密度」になるが、わかりやすく意識すると、人間関係の親密度のことである。

(5)

**解答例**

芸術家たちが親密過ぎて、同じような考え方をするようになり、劇の創造性を潰してしまうから。

下線部⑤の次の文で理由がはっきり述べられている。ほぼ直訳でもいいたろう。

(6)

**解答例**

慣れ親しんだ友人と新参者の両方がいると、効率よく影響し合えるうえ、新しい考えを取り込むこともできるから、人間関係の親密度が中間レベルであるチームが最も成功するミュージカルにつながる。

第 9 段落に該当部分がある。「どのようなチームが最も成功するミュージカルにつながるのか」という問いに対しては、その次の文に答えが示されている。「最もよいブロードウェイのショーは社会的親密度が中間レベルのとき創られた」とある。その理由は第 9 段落後半に、「これらのチームには慣れ親しんだ友人がいるが、新参者もまたいる。この混合は、芸術家には依拠できるなじみのある構造があり、効率よく影響し合うことができるが、新しい考えを組み込む努力もすることを意味している。彼らは、お互いを居心地がいいと思うが、居心地がよすぎはしない。」とある。これをまとめると、「慣れ親しんだ友人と新参者の両方がいると、効率よく影響し合えるうえ、新しい考えを取り込むこともできるから」となる。

(7)

**解答例**

1957 年、その劇は社会問題を題材にすることを厭わない点や、ダンスシーンが増えた点から、ブロードウェイのしきたりから大きくかけ離れているとみられていた。共同制作者の何人かはすでにブロードウェイの伝説的な人物であり、以前一緒に働いたことがあったため、初めは、ウエストサイド物語は高い Q をもった劇に見えるかもしれない。

radical departure from Broadway conventions は、直訳では「ブロードウェイのしきたりからの激しい離脱」となるが、これだと日本語が不自然なので、言い換えると、「ブロードウェイのしきたりから大きくかけ離れている」と訳すことができる。tackle social problems は、直訳では「社会問題に取り組む」となるが、要はミュージカルで「社会問題を題材にする」ことを言っている。後半はほぼ直訳で問題ないだろう。

## 表現

neuron 「ニューロン」	track down 「見つけ出す」
all of a sudden 「突然, 不意に」	chart 「図表にまとめる」
shiver 「震える; 震え」	topsy-turvy 「逆の; めちゃくちゃな」
circuit 「回路」	interconnect 「相互に連絡する」
collaborate 「協力する」	density 「濃度, 密度」
talent 「才能; 才能ある人」	designation 「指示; 名称」
exceed 「超越する」	in essence 「本質的には」
low-hanging fruit 「簡単に手に入るもの」	intimacy 「親密さ」
demonstrate 「論証する; 説明する」	incumbent 「現職の, 在職の」
profound 「重大な; 深い」	in contrast 「それに対して」
peer-review 「査読する」	metric 「測定基準」
patent 「特許」	correlation 「相互関係」
subfield 「ある研究分野の中でさらに細分化された 分野, 亜領域」	variable 「変数」
cite 「引用する」	utter 「完全な」
particle physics 「素粒子物理学」	flop 「失敗作」
human genetics 「人類遺伝学」	high-profile 「人目をひく」
multiple 「複数の」	stifle 「抑える, もみ消す」
expertise 「専門技術, ノウハウ」	a bunch of 「多くの」
spare time 「空き時間」	mediocre 「平凡な; 二流の」
rattle off 「早口にしゃべる」	intermediate 「中間の」
diverse 「多様な; 異なった」	laud 「ほめたたえる」
composer 「作曲家」	sweet spot 「最も有効な組み合わせ」
lyricist 「作詞家」	newbie 「新参者」
librettist 「歌劇の台本作者」	incorporate 「組み入れる」
choreographer 「振付師」	departure 「出発; 離脱」
epic 「大規模な」	convention 「しきたり, 習慣」
	injection 「注入」

(吉田涼佑, 松永悠希)

## 2016年度 大阪大学 前期 英語

### III

出題範囲	自由英作文
難易度	★★★☆☆
所要時間	15分
傾向と対策	具体例を発想したうえでそれをうまく英語で表現しなければならないが、それはあらゆる自由英作文に共通する問題なのでことさらに本問題が難しいということはない。かなり広いテーマであったため比較的書きやすかったのではなかろうか。

#### 解答例

(例1) I think knowledge gives you the power to solve problems. For example, when you are faced with difficult mathematical problems, you cannot solve them easily unless you are a genius. However, if you know many formulas, you have only to apply them to the problems. In real life, knowledge also helps you work on issues. History, for instance, sometimes teaches us useful lessons that can help you solve issues or prevent them from arising. (74words)

訳：知識は問題解決する力を与えてくれると思う。例えば、難しい数学の問題に直面したときあなたは天才でない限りそれを簡単に解くことはできない。しかし多くの公式を知っていればそれを適用すればよいだけである。実生活でも知識は問題に取り組むのに役立つ。例えば、歴史は時として有用な教訓を教えてくれ、それによって問題を解決したり問題発生を防いだりすることができる。

(例2) In my opinion, knowledge gives you the power to avoid dangers. I often receive emails that require me to pay tens of thousands of yen without any reason. If I didn't know this was deception, I would lose an unimaginable amount of money. Knowing what kinds of deception exist and how to cope with them is an essential element in your life. That's how knowledge gives you power. (68 words)

訳：私の意見では知識は危険を回避する力を与えてくれると考える。私はよく根拠もなく何万円もの支払いを要求するメールを受け取る。もしそれが詐欺だと知らなければ想像を絶するほどのお金を失っていただろう。どんな詐欺があって、それにどう対処すればいいのを知っていることは生活において必要不可欠な要素である。こうしたかたちで知識は人に力を与える。

#### 解説

知識はどんな力をもつかという漠然とした問いに具体例を挙げながら答えなければならない。自由英作文は内容如何よりも文法を重視しているので、あまり難しく考える必要はない。例えば、土地に詳しいと道に迷わずに

すむとか、言語に精通していると外国人とコミュニケーションがとれるとか、実利的な具体例はいくらでも思いつくだろう。また、知識のもつ力をそういった実用面に限る必要はなく、先人によって蓄積された物理の知識は宇宙の真相を解明する力をもつとか医学は多くの難病を治すとかスケールの大きな話をしてもらいたい。ただ注意すべきなのは具体例を一度は一般化したかたちで述べる必要があるということだ。単にこういう例があるということを書くだけではなくて、その例が知識のどのような力を証明しているのかということまで書く必要があろう。解答例のようにまず I think knowledge gives you the power to~. For example,~というかたちが書きやすいかもしれない。

(佐藤寛司, 吉田涼佑)

# 2016年度 大阪大学 前期 英語

## IV

出題範囲	和文英訳
難易度	★★★★☆
所要時間	15分
傾向と対策	この問題を解くうえで注意しなければならないのは、問題文に「意味を説明せよ」と書いてあることである。「訳せ」ではないので、構文などが変わってしまったとしても英文の意味が伝えられていれば正解である。

### 解答例

(1)

(例1) Art is something that does not necessarily need to exist, but there are people who are moved by it. Because of them, I am able to live as an artist.

(例2) It does not matter if art exists or not, but there are some people who are touched by it. It is thanks to people like this that I am able to continue living as an artist.

(2)

(例1) I suppose there are people who look at my one stroke and feel calmed, or somehow feel themselves becoming lively.

(例2) There are people who look at the one line that I drew and feel refreshed, or somehow become energetic, perhaps.

(3)

(例1) I paint because I hope there are people who think they have gained something or some hint on how to think from my painting, and that's all. If someone is moved even just a little, I think it was worth painting.

(例2) I simply paint in hopes that there are people who look at my painting and feel that they have gained something or some hints on an idea. If there is a person who is moved even just a little, I think it was worth painting.

**解説**

(1)

下線部 1 は、以下の 3 つの文に分けることができるので、それぞれ分けて解説する。

- (a) 芸術というものは、あってもなくてもいいようなものである。
- (b) それが心に沁みるという人もいる。
- (c) そういう人がいるから、私は生きていけるのです。

(a) 「芸術というものは、～ものである」という表現は Art is something that~とそのまま訳すことができるがもちろんこの問題の出題形式上 It does not matter if art exists~などのように記述しても問題はない。次に「あってもなくてもいいようなもの」の訳出を考えるが、このまま訳すことはできないので日本語で同じ意味の表現に直す。「必ずしも（存在が）必要ではないもの」や「存在するかどうかは関係ないもの」などとなおせるので、それぞれ解答例 1 と 2 で用いた。

(b) ここでのポイントは「心に沁みる」をどう解釈したかということである。この日本語に対応する英語はないため、「しみじみと感動する」という語に置き換えると訳しやすくなる。ただ、感動といっても感心するという意味が強い impressed や、「しみじみと」の意味とは相いれない compelled など用いることはできない。

(c) 「そういう人がいるから」をそのまま because such people exist のように「存在している」という意味で訳すこともできたが、あとに続く内容を鑑みて、解答例では「そういう人のおかげで」と解釈して訳した。「私は生きていけるのです」での「生きる」は、生命が維持できるという意味というよりも、芸術家として活動続けることができるという意味であろう。そのため、解答例では(live / continue living) as an artist とした。なお、continue living でなく live だけでも存続の意は示すことができるので、どちらも解答例に含めた。

(2)

下線部 2 を解釈するうえで、まずつまづいてしまうのは、「私の 1 本の線」をどう表現するかということである。直訳して my one line とすると意味がわからないため、日本語を解釈しなおすか言葉を補う。解答例 1 では「1 本の線」を「一筆」と解釈しなおすことで my one stroke という英語で表現した。一方で、解答例 2 ではこの「線」が、「私」が描いたものであるという意味を明示するために that I drew とつけ加えた。

「A を B というような気持ちで見る」を訳すときは通常 look at A with a feeling of B のように訳すが、この場合は B の中身が大きくなってしまっているため、この形を使うのが難しい。そのため、本解答においては「A を見て B と感じる」というように日本語を解釈しなおした。一見、前後関係が逆になっている（「まず B という気持ちがあったうえで A を見る」のに対して、「A を見た結果 B という気持ちが生まれた」）が、日本語の意味内容を考えると「すっとした気持ちをもったうえで線を見る」ということは考えづらく、「線を見た結果すっと

した気持ちになる」と考える方が自然なので問題はない。Bの内容は「気持ちがすっとした、なんとなく見るたびに自分が生き生きとしてくる」である。ここはそのまま訳しても問題はないので、「すっとする」に feel refreshed, 「なんとなく」が somehow, 「生き生きとする」 become lively, energetic などが思い浮かべば訳せたい。また、文末の「～でしょう」を訳出することを忘れないように気をつけたい。

(3)

まず第2文であるが、そのまま訳すことができる\*。「Aしたかいがある」は worth (doing) A と訳され、和訳問題でもよく使われる表現であるので思い浮かばなかった場合はこの際に覚えておこう。「心動かされる」を moved と訳すのも頻出であるので覚えよう。

一方、第1文はまず日本語の解釈をしないと英語で表現することが非常に難しい。主に解釈が必要となるのは「～と思っている人がいるとしたら、というそれぐらいのことですよ」の部分である。前半の「いるとしたら」のあとに続くべき言葉が省略されているが、最終段落の内容などを考慮して「よいと思う」と補うのがよいだろう。ただ、「よいと思う」をそのまま I think it is good と訳してしまうのではなく、直前に「～としたら」という仮定表現があることを加味し、希望の意味と捉えて I hope と訳すのがよい。「というそれぐらいのことですよ」は主語が省略されているが、文意から推測するに「絵を描く理由」が主語である。最終的に「絵を描く理由は、絵から何かを～がいるとしたらよいと思うから、というそれぐらいのことですよ」などと日本語に解釈しなおすことができる。

厳密な英訳は求められていないため、「絵を描く理由は～」は I paint because～としても、もちろん The reason why I paint is～としてもよい。in hope of / that 「～ということを期待して、～ということを指して」を知っていれば、解答例2のように I paint in hopes that～とできただろう。

「何かを得たり、何か考え方のヒントをもらえた」は「得る」と「もらう」をまとめて gain と訳すことで gained something or some hint on how to think とできる。「絵から」は from my painting と訳せるが、「絵を見ることで」と解釈して by looking at my painting としても問題ない。

「それぐらいのことですよ」は言い換えると「それだけだ」であり、that's all と訳すことができる。しかし、これは that is all there is to why I paint が省略された形と考えることもできるので、文頭で絵を描くことに触れている部分に同じ意味の語をもってくることも可能である。解答例2ではこの考え方に従って simply を用いた。

\*およそ採点基準には関わらないということをもっと断っておくが、むしろ「描いたかいがある～」を先に訳して I think it was worth painting if there is a person who is moved～としてしまうと、「心動かされた人がいない限り描いたかいがない」というニュアンスが強くなってしまいうため、語順を変えることも好ましくないだろう。(非常に難しい話にはなってしまうが、文中で if が用いられている場合は、文脈によってはより限定的な only if の略である可能性があるためである。)

**表現**

be touched 「感動させられる」

worth (doing) A 「A する価値がある, A するかいがある」

moved 「心動かされる」

that's all 「それだけだ, 以上だ, これですべてだ」

(山藤孝介, 松永悠希)

## 2016 年度 大阪大学 前期 英語

### V

出題範囲	リスニング
難易度	★★★☆☆
所要時間	25分
傾向と対策	文章として伝えたいことはそこまで難しくないが、例が多用されているため、例と論との対応関係に注意しながら聞こう。また、問題番号の順番どおりに該当箇所が出てくるので、そのことに留意しながら対応箇所の検討をつけよう。また、1回目でよく聞きとれなくても、答えに関連する箇所のおおよその見当をつけられるようにしよう。

#### スクリプト訳

赤ちゃんに記憶はあるのか。もちろんある。彼らは自分の好きな人たちを認識し、赤い缶の中にクッキーがあることを知っている。それが記憶だ。しかし、おそらく思い出すことができる一番昔の記憶は3歳くらいに遡るだろう。

児童心理学の教授のマリー・カレッジは、赤ちゃんは、年上の児童よりも学ぶのに時間がかかり、すぐ忘れてしまい、一度に取り入れることができる情報が少ないが、いい記憶力をもっていると言っている。最も初期の記憶を取り戻すのを阻む大きな障害の1つは、赤ちゃんには言語能力がないということだ。「赤ちゃんは言語を用いて記憶を記号化しない。彼らが大きくなり、その情報を思い出すように頼まれても、それは言語という手段を使うことを要求されているので、大きな障壁となる。」とカレッジ教授は言っている。このように考えてみてください。それは、マッキントッシュのファイルをウィンドウズのOSで開こうとしているようなものなのだ。

私の母が、この考え方を完璧に示すような、私に関する話をする。私が生後3カ月くらいのとき、私は注射を受けなければならなかった。それはひどい頭痛も引き起こすことがある、とても苦痛を伴う治療であった。私が3歳のとき、母が病院での検査の1つに私を連れて行った。ドアから入った途端に私は泣き始めた。どうしたのかを聞かれたとき、「この匂いのせいで頭が痛い」としか言えなかった。記憶はあったのに、それはほとんどすべて感覚的な印象から成り立っていた。

カレッジ教授が言うには、2歳くらいから、いくつかの前頭葉部位における発達が進むことにより、十分に記憶力が高まるため、この年齢の記憶から思い出せるようになる大人もいる。「脳が大きくなるにつれて、脳の多くの領域で、特に大脳皮質で発達がみられる。これは、子どもがより多くのことを記憶できることを意味する。彼らは習得がより速くなり、記憶が長くなるのである。もう1つのカギは、より強い自己意識の発達だ。自我は、記憶をぶら下げられる大きなハンガーのようにはたらくということである。」とカレッジは言っている。

幼稚園児が記憶を保持し始めることができるもう1つの理由は、話せるようになりつつあるからだ、とカレッ

ジが言っている。「このことが、覚えていることを伝える子どもの能力にまったく新しい道を開く。」

最後の条件は 3 歳から 5 歳の間にそろそろ。カレッジいわくその時期に、「子どもは言語を使って経験を詳しく語ったり、話し合ったりすることができる。これは、話を何度も何度もするという繰り返して、この繰り返しがその話をよりよく記憶することを意味している。」

ならば、子どもが大人になっても覚えている可能性が最も高いのはどんな記憶なのか。一般的に、特別な経験のほうが、日常的な出来事よりもよく覚えられている傾向にある、とカレッジが言っている。「ディズニーワールドに 1 度行ったことは記憶に残るだろう。ディズニーワールドに 4 度行ったことは、全部がかすんでしまいがちで、記憶に同じくらいのインパクトは及ぼさない。」とカレッジは言っている。

私たちは必ずしも子どもの頃のすべてを覚えていたいわけではない。私は、カウンターによじ登り、戸棚から子ども用の薬のボトルを取り出したことを、とてもはっきりと覚えている。私は私のお医者さんセット用にそのボトルが欲しくて、空のボトルしかもつことが許されていないとわかっていたから、ケースにしまう前にそれを飲んだ。そして、そこで記憶が終わり、その後の胃の洗浄は覚えていない。

### 解説

(1)

#### 解答例

赤ちゃんには言語能力がないこと。

赤ちゃんの頃の記憶を思い出せない理由について書いているのは第 2 段落で、One of the major hurdles to retrieving earliest memories is the infant's lack of language. という 1 文が質問の答えとして対応している。これをまとめればよい。

(2)

#### 解答例

生後 3 カ月のときに病院でとても苦痛な注射を受けて、ひどい頭痛が起きたという記憶があり、病院の匂いを嗅いただけで頭が痛くなったこと。

筆者の 3 歳の頃の病院での出来事について書いているのは第 3 段落である。

母に理由を聞かれた際、「この匂いのせいで頭が痛い」としか言えなかったが、言葉にできない感覚的な記憶があると書いてあるので、これだけでは不十分だ。その根本的な原因は、第 3 段落前半に書いてある。生後 3 カ月のときに病院で受けた苦痛な注射が記憶にあったのだとわかる。なお、ここでは、can also cause a severe headache とあり、筆者にも頭痛が起きたかどうかは明言していないが、「この匂いのせいで頭が痛い」と答えているので、おそらく筆者にも頭痛が起きたことが推測できる。これらをまとめればよい。

(3)

**解答例**

- ・ 脳の多くの領域，特に大脳皮質が発達すること。
- ・ 自己意識がより強く発達すること。
- ・ 話せるようになり始めること。

2 歳くらいの子どもについて述べ始めているのは第 4 段落であり，そこで脳の発達と自己意識の発達という 2 つの理由が述べられていることがわかる。そして，第 5 段落冒頭に，Another reason why preschoolers are able to start retaining memories is that they are learning to talk~とあるので，ここの該当箇所である。以上の 3 つの理由が答えである。3 つ目の理由に関しては文章の最初の部分で，幼児の記憶力が乏しいことの原因として言語能力の欠如が述べられているため，記憶の発達に言語能力が関係してくるはずだということは予想がつくだろう。

(4)

**解答例**

言語を用いて経験について詳しく語ったり，話し合ったりすることができるようになり，これを繰り返すことで記憶が強固になる。

3 歳から 5 歳の子どもについて述べているのは第 6 段落である。そこでのカレッジの発言をまとめればよい。

(5)

**解答例**

日常的な出来事より，特別な経験のほうが記憶に残りやすいということ。

第 7 段落でディズニーワールドが例として言及されているが，それをとおして伝えたいことはその直前の distinctive experiences tend to be remembered better than routine events. である。これが答えである。

**表現**

(the) chances are (that) A 「おそらく A だろう」

illustrate 「説明する」

tin 「缶」

injection 「注射」

date back to A 「A に遡る」

procedure 「手続き，処置」

infant 「幼児」

checkup 「検査」

encode 「符号化する」

sensory 「感覚的な」

retrieve 「取り戻す」

cortex 「大脳皮質」

verbal 「言葉の」

hook 「引っかける」

preschooler 「未就学児, 幼稚園児」

retain 「保つ」

vista 「展望」

fall into place 「正しい(本来の)場所に収まる」

recount 「詳しく語る」

rehearsal 「リハーサル, 繰り返し」

routine 「日常の, 定期的な」

blur 「かすんで見える」

cupboard 「戸棚」

stomach pump 「胃の洗浄」

(松永悠希, 吉田涼佑)